

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 東京学芸大学附属国際中等教育学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒178 - 0063
東京都練馬区東大泉 5-22-1

E-mail : kenkyu@iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp

Website : http://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp

児童生徒数：男子 282 名 女子 435 名 合計 717 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (ESD)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

・「世界一大きな授業」実施（全学年希望者対象）

2014年5月

世界で今何が問題になっているのか、それを世界と共有しようという意志を持って、アクティビティをしながら一緒に学び、最後に政策提言をまとめた。生徒が主体となって進められるよう事前学習を行い、当日は生徒がファシリテーターを務めた。参加者は約20名。後期課程の5年生・6年生が主体となって進められた。全体をファシリテーターが統括し、ワールドカフェ方式でのディスカッションを含めた進行となった。

テーマ：国際理解／平和・人権

・東北ボランティアキャンプ（ボランティア部および高校生参加希望者対象）

2014年8月

ボランティア部が3度目となる東北ボランティアキャンプを企画し、実施した。約20名の生徒が東日本大震災の被災地の一つである宮城県石巻市で、仮設住宅での肩もみ・ハンドマッサージボランティアなどの活動を行った。また被災者の方々からお話をうかがう機会、被災地の復旧・復興の状況を実際に見させていただく機会もあり、こうした機会を通して自分たちのような若い世代がリアルが防災意識を持つにはどうしたらよいかということ課題として研究を始めた生徒もいる。

テーマ：防災・ESD

・ウォーク&ランフェスタ ボランティア参加（全学年希望者対象）

2014年9月

難病患者や障害者の方への理解を深めるスポーツイベントとして第6回を迎えたウォーク&ランフェスタに本校生徒約200名がボランティアとして参加した。昨年に続き、講演や表彰のMCを任せられ、生徒達が作成した台本を元に進行した。受付やラン担当・ドッチビー・からだ検定担当の他、イベントで行われた風船バレーや車いす体験コーナーなど、さまざまな役割に分かれて活動した。担当時間外には生徒達も体験したり、走りながらランナーを応援したり、また、音楽部の生徒は演奏と歌で参加したりと、大会を大いに盛り上げるとともに、「どんな人にも平等にスポーツを楽しむ機会を！」という意識を強める機会となった。

テーマ：平和・人権

・災害発生を想定した地域の炊き出し訓練に参加（全学年希望者対象）

2014年9月

東京都練馬区の南大泉町三丁目町会防災会主催の炊き出し訓練に生徒が参加した。災害発生時に必要となる地域との協力・連携体制を作るとともに、防災や災害時の意識を共有する重要な機会となった。

テーマ：防災

・One Young World Summit アイルランドへの参加および参加者による校内ワークショップ

2015年10月・12月

世界190か国から1300人以上の若者が集まり、世界の様々な問題を若い世代がどう解決できるのかということ話し合う「One Young World」のアイルランド大会へ本校から2名の生徒が日本チームの一員として参加した。サミットのゲストスピーカーには元国連事務総長のコフィ・アナン氏や北朝鮮から脱北した若者などもおり、深刻化する世界の諸問題について、各国の参加者と意見を戦わせ、意志を共有するまたとない機会となった。帰国後はその体験を校内の生徒と共有するために「Global Café」という形でワークショップを開催し、OYWに参加した生徒をファシリテーターとなり、1年生（中1）～6年生（高3）

まで約 30 名が参加した。

テーマ：国際理解

・講演会実施（1 学年全員対象）

2015 年 2 月

「ルワンダでバナナの紙が仕事をつくる」

<講師津田久美子氏（HAT DE COFFEE & BANANA）>

途上国支援について就業支援・雇用支援という視点から考える契機を持ち、金銭や人材の提供にとどまらない、持続可能な支援を考える機会とした。

テーマ：国際理解／平和・人権／E S D

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ボランティア部の活動として実施）